

# 全国駅弁博覧会

～お弁当箱全国版～

第44号:2011年12月

「おにぎり文庫」全国事務局改め  
NPO法人「おにぎり文庫の種」  
102-0076 千代田区五番町 3-1  
五番町グランドビル 2F 東京ART  
大野 直子  
ono.na@kumon.co.jp

## ★「おにぎり文庫メーリングリスト」

熊本事務局/吉嶋美直子先生の指揮の下、新しいメーリングリストにお引越しました。全国140名のおにぎり文庫を愛する皆さんとともにパソコン上で楽しくワイワイガヤガヤしています！全国の「おにぎり文庫」のホットな情報の飛び交うメーリングリスト、ぜひご参加ください。

## ★「忍者読み聞かせ隊」

全国各地で約70名の忍者が子育てサークルや小学校のみならずご老人のデイサービスセンターなどでも活躍中です。参加したい！という方は、全国駅弁博覧会37号に添付のご案内、申込書をごらんください！

## ★NPO法人「おにぎり文庫の種」パンフ★オリジナルシール

など、過去の「全国駅弁博覧会」でご紹介しています。「それなに？」とおもわれたら、上記大野メールアドレスまでお気軽にお問い合わせください。

## ●あさたろう親分こと土屋育子先生、ラジオに登場！

12/20(火)と27(火)10時30分～東京FM ラジオ番組 Blue Ocean Precious Life

<http://www.tfm.co.jp/bo/> に、おにぎり文庫創始者のあさたろう親分こと土屋育子先生が登場されます！各界で活躍するさまざまな女性が仕事の楽しさをお話する番組の中で、親分は、公文書の指導者として、また、全国に広がるおにぎり文庫の活動を通してお感じになっていることなどもお話いただく予定です！お楽しみに・・・！

## ●全国おにぎり文庫サミットを実施しました！

12月4日(日)午後18時～20時頃まで、神戸ポートピアホテル1階 ティーラウンジ「ベルクール」にて、「全国おにぎり文庫サミット」を実施いたしました。全国7事務局、12名の皆さんが入れ替わり立ちかわりご登場いただき、各地でのおにぎり文庫の楽しいご報告や、現在実施している「被災地に本を1000冊送りたい！プロジェクト」の進捗状況のお話もいたしました。



参加された先生方からは、楽しい絵本の紹介も。札幌おにぎり文庫の佐々木百合子先生からは、ロバート・サブタさんの飛び出す絵本「Christmas」をご紹介いただきました。

今季節にぴったりで、飛び出す絵本の織り成す美しい造形を、全員うっとり堪能したのでした！

「おにぎり文庫サミット」は、これからも毎年実施していきたいと思っております。お一人での参加や、

「全部は出られないけれど少しだけ…」という方ももちろんOKです！ぜひ来年もご参加ください！

## ●町田・池袋で内田麟太郎さんの講演会を実施しました！

11月16日町田事務局(町田事務局おにぎり文庫主催)で、11月26日池袋事務局(NPO法人おにぎり文庫の種主催)「ともだちや」「おでんむらい」などでおなじみの内田麟太郎先生の講演会を実施しました。実際に絵本の絵をスクリーンに映して、内田さんの暖かい口調での読み聞かせとお話に、笑いあり、涙ありの一時間半でした！



## 参加された方のご感想

★町田の講演会で内田先生は、『まねっこでいいから』を紹介されました。そこまで軽妙にお話しをされていた先生が、小さい頃お母さまに弟と区別をされていた思い出を語られる時、言葉を詰まらせていたのが印象的でした。だからこそ先生の声で聞く「まねっこでいいから」の朗読はじんと胸に響きました。『がたごとがたごと』のようなナンセンスから、『ともだちや』のような胸キュン、そして『まねっこでいいから』のようなシリアスなお話まで、先生の魅力がたっぷりつまっていて素晴らしい時間でした。  
(町田事務局:池田さんより)



★先日の池袋事務局での内田麟太郎さんの講演会、楽しかったです。横浜から思い切って出かけて良かったです！

お話の中で印象的だったことをいくつか…麟太郎少年は詩が好きだった、しかも中也とか室生犀星にはまっていたとは知りませんでした。絵本『がたごとがたごと』がどうやってできたのかのエピソードでは、言葉と絵の構成はまさしく作者さん二人の絶妙な組み合わせによるところが大きいと思いました！「ともだちや」の挿絵の降矢ななさんとの出会いも以前「絵本があってよかったな」という本で読んでいたのですが、ご本人から直接詳しくうかがえて、ワクワクしました。「ともだちや」まだまだ続きを読みたい絵本です。(横浜事務局:麻野先生より)

つちやあさたろうです。またひとつ夢がかないました。

始め…本の数が圧倒的に少ない第2教室の読書環境をなんとかしたい、と書いていろいろやってみて一人の力では大変な割にたいしたことにはできないとわかり、考えて考えて考えて考えて、ある時ポンツと思いついた「おにぎり文庫」。狭い場所でも費用を余りかけずにたくさんの本と出合える仕組み、と思いました。

回っているうちに気がついたこと。それは、自分の教室の子どもたちのためだけではなく、次の教室のことを考えているということです。本を大切に扱う。遊びに行ってしまった本をまた集めて、全員いるか、破けたりしていないかを見る。その気持ちも一緒に送られてくるから気持ちいいんだ！

大人も楽しんでいる様子、教室にも自宅にも学校や保育園にもあるおなじみの本から手にとる子どもたち、送られ送る楽しい気持ち…これって公文の教室だけで回すものじゃないなあ…と気づいてから、「心のごはん」なんだから体が元気じゃない人たちのところにも届けられたら、と書いていました。そうしたら、札幌おにぎりの歯医者さん、池袋おにぎりの小児科医院の待合室におにぎり文庫が置かれました。更に元気のない入院している子どもたちのところにあればいいのに、と書いていたら、来ました！12月から池袋おにぎりでは小児科病棟におにぎり文庫が置かれます。心臓病の治療のために入院している子どもたちの心に、毎月炊きたての美味しいおにぎりが届きますよ！こっそりのぞきに行きたいなあ♡

あとは外国にもおにぎり文庫ができればいいのに。被災地支援はもちろんまだまだ続きます。

2011年12月～

🏠 おにぎり文庫が届きました！ 🏠

おにぎり文庫とは？

自分や、地域の子どもたち、大人たちのための絵本を中心とした文庫です。  
本がいつも手元にあると読みたいときに読みたい、たくさん読みたい本に出会いたい、子どもたちが好きな本になってほしい、大人ももっと絵本を楽しみたい、という方たちが集まります。全員で一つの輪を作り、一人あたり1冊の本をセットとして届けています。まず大人が読み、楽しさを伝えるために読み聞かせ、子どもが自分でも読み、本を読むことが習慣となって、思春期になっても大人になっても読書を楽しむことを願っている活動です。絵本は小さい子だけのものではありません。どの年代でも、いつになっても楽しめる心のごはんです。絵本を楽しむ、その美しさを伝えたいという熱意を持ちつつ、ずっと続ける活動です。

読書は心のごはんです。

心のごはんをにぎって、持ち運べるようにしました。

それが

**おにぎり文庫の種**  
OHIGIRI BUNKO NO TANE ですよ。

病院内に置かれたおにぎり文庫のご案内ポスターです。

## 被災地に本を 1000 冊届けたい！プロジェクト、着々と進行中！

2011年12月10日現在、690冊の本をお届けできました！100名の方、団体にご協力いただきました。本当にありがとうございます！また、継続して今後もお協力いただける方を募集中です。ご協力いただける方は、41号に添付いたしました申込書をごらんください。どうぞよろしく願いいたします。